

## 10周年を迎えるにあたって

会長 山口 道子

今年の冬は殊の外寒さ厳しく、まだ桜が咲いていました4月22日、総会が開催され、後日の全体会にて、通年テーマ「ふれ合って みんなで生かす 女性の力」が今年度のテーマと決まりました。

昭和62年に発足しましたみちの会も、早いもので今年10周年を迎えます。今年度は記念事業を行い、会の足跡を確認し、新たな出発へのステップとしたいと思います。

皆の永年の夢でありました女性総合センターが5月30日にオープンし、地域実践フォーラムが6団体参加のもと、開催されました。

今年はまだ、婦人参政50年ともなり、記念イベントが9月に開催されます。

今年度は沢山の行事がありますが、皆様と一緒に充実した一年となります様、ご協力をお願い致します。

### ~~~~~本年度事業予定~~~~~

★第1回学習会

日時 7月11日 10:00 ~12:00

場所 ウィルあいち4F和室

題目 公的介護保険について

講師 愛知県民生部高齢化対策室 主任専門員 西川洋二氏

野並福祉会 野並デイサービスセンター施設長 加藤清文氏

★第2回学習会 9月予定

★第10回知多・名古屋女性フォーラム

日時 10月26日 (土) 13:00~17:00

場所 ウィルあいち

テーマ ふれ合って みんなで 生かす女性の力

★見学研修会 11月21日頃

★女性参政50年記念フォーラム

日時 9月12日 (木)

午後の部 13:30~15:30 ウィルあいち ウィルホール

音楽 志多ら太鼓

講演 荻野アンナ (作家)

夜の部 18:30~20:30 ウィルあいち 大会議室

トークショウ 大塚 簡子氏 (弁護士) & 男性

音楽 大塚 簡子氏 (歌曲)

入場券を希望の方は山口会長へ (☎052-892-3904) 7月28日まで

# “ウィルあいち” 開館

愛知県女性総合センター 96・5・30

住所 名古屋市東区上鬢杉町1番地

電話 052-962-2511 3

FAX 052-962-2477

## 躍動ウィル

八木 登代子  
(愛知県女性総合センター 建設委員)

樹木の新緑が美しく映える5月、愛知県に、女性総合センターがやっとオープンすることができました。女性会館として建物の大きさは、日本一だそうです。会館以来、連日連夜多くの人々が入りし、県民の関心の深さを感じました。記念行事に参加した70以上のグループが、活発なイベントを展開し、立派な建物に驚きながらも、情報を発信しあって喜びを分かち合いました。実際に利用して、不都合な点のあることも少々気がつきました。今後このウィルあいちを利用する者として、私たちは何のために莫大な県費が注がれたのかを、もう一度考える必要があると思いました。そして、センターを運営する側の人と友に“ウィルあいち”にこめられた意味を理解し、それにふさわしい活動をしてこそ、名が実を結ぶものと思います。そのうちにソフト面でも他都市に後れをとらない愛知になる事でしょう。10周年を迎える“みちの会”が未来に向かって努力し、輝いた人々の集まりである事を思い、これからも仲間に加えて頂き意義ある生き方をしようと思っております。

## ★ “ウィルあいち” 開館を祝って

★★  
飯田 ちづ子

第4期女性問題開発研究員として研修中に、アンケートで「女性会館を作るにあたり希望を書いて下さい」と問われ、夢のような希望を書いてから6年目？夢以上の立派な会館“ウィルあいち”が開館しました。3階まで吹き抜けの明るい空間、洗面所に到るまで細かい心配りがあり、バブル期の設計でラッキーだったなど実感しました。

あとは使いやすさ、ホールの使用料金、予約の方法などゆっくり体験してみたいと思います。

### ● 開館までのあゆみ

平成元年10月 「実質的な男女平等社会の実現」を基本目標とする女性行動計画「あいち女性プラン」が策定され、その中で計画実現の拠点として女性総合センターの建設が掲げられる。

12月 愛知県婦人問題懇話会から女性総合センターの基本方向について提言

3年3月 女性総合センター基本計画書策定

6月 「女性総合センター建設委員会」設置

4年3月 基本設計

4年5月 実施設計

5年4月 用地取得

10月 起工式

6年11月 愛称を公募により「ウィルあいち」と決定

8年1月 建物しゅん工

4月 財団法人「あいち女性総合センター」設立

5月 開館

### ◆ お知らせ ◆

みちの会はウィルあいち利用のための女性団体登録を完了しています。

ウィルあいち開館記念

# 地域実践活動フォーラム 開催

参加者500名

## 【躍動への確かな前進】 ——手と手をつないで——

日時 平成8年6月5日（水）午後2：00～4：00

場所 ウィルあいち 愛知県女性総合センター“ウィルホール”

主催 愛知県女性地域実践活動交流会

◇尾張えみの会

◇海部・津島女性の会

◇地域開発みちの会

◇やはぎ会

◇東三にじの会

◇国際交流はなのき会

### [開会]

あいさつ 実行委員長 久保田公江

あいさつ 愛知県青少年女性室室長 桑田良子

〈要旨〉 日頃は、地域実践、女性の地位向上にむけて、地域の発展に力を注いでおられることに敬意を表する。

5月30日にウィルあいちをオープンさせていただいた。ウィルあいちには男女共同参画、男女平等を推し進める拠点として活用して頂きたい。秋からは、情報発信の場にもなる。

ものの考え方や、価値観が変わって、生活は豊かになった。しかしこの、先程つけていただいた、胸の手作りコサージュに、熱い思いが伝わる。心の豊かさ、いま何をしなくてはならないかを、考えねばならない時期に来ている。

——手と手をつないで——2005年にむけて新しい地球創造、人がどう交流していくか、万博誘致も進められている。英知を集め、今何を行動に移したら良いのか考えていきたいものだ。この会の盛会を祈念する。皆様がそれぞれの地域で活躍されることを祈っている。



## 《パネルディスカッション》

司会 八木登代子

パネラー 愛知県女性地域実践活動交流会代表 6名

[内容]

活動実績報告

### ◆やはぎ会 中根澄恵 会員数80名

〈要旨〉出身地碧南市において、環境問題などをテーマに、地域行政との協力で学習会の運営を続けてきた。地域に溶け込み活動の実績に発展している。出発の時点で地域婦人会の衰退と重なりタイミングの良かったことも成功の一因と思う。

### ◆尾張えみの会 星野靖江 会員数89名

〈要旨〉個人としては6年前から地域議員として議会に参加し、女性の地位向上のため努力している。会の活動はネットワーク作りを通して、生活の知恵を出し合い、“共に支えあう家族の老い”等をテーマに勉強してきた。

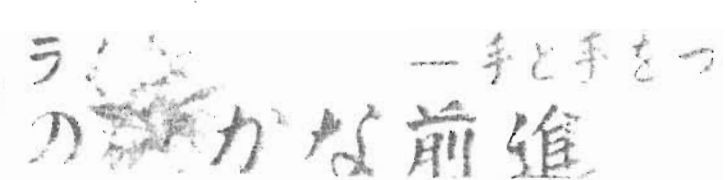
### ◆海部・津島女性の会 服部愛子 会員数63名

〈要旨〉1市12町村という地域性もあり、海部事務所の指導のもと、年1回の講演と研修会のみで終わっている。個人としては、地域の代表である議員に挑戦したが失敗した。地域の意識改革に努めたい。



### ◆地域開発みちの会 油田淑子 会員数65名

〈要旨〉行政に頼らない地域活動を強調



### ◆東三にじの会 原田鈴子 会員数76名

〈要旨〉東三にじの会の名称の由来。東三河19市町村を7色の虹で結ぶ。現在の活動は、市女性プラン作成に参加、女性団体の連係を目指し、「はつらつネットワーク」に16団体が参加している。



### ◆国際交流はなのき会 前原節子 152名

〈要旨〉昭和59年県国際交流第一回派遣団から17年目。会員は152名。男女平等と社会参加、平和への行動、自立した活動を基本に異文化との交流理解を広めるため活動している。

## 質疑応答

地域活動における行政とのかかわり方など数多くの質問が出されたのに対し、油田さんは、みちの会は市町へのべったり依存はなく、私たちの力で、頭で考えて行動するように努めていると応答された。

女性が地域活動するにあたっての具体例を聞きたいとの質問には、八木さんは“名東懇話会”、竹川さんから“東浦女性の会”の報告があり、顧問の福田先生のコメントもあった。その他数多くの意見が出された。



## 閉会の言葉

吉岡繁代

## 感想

意見交換は大いに盛り上がり、時間の不足を感じるほどであった。県指導で始まった地域実践活動の交流会が3年目で初めて開かれたため、お互いを理解することが精一杯で、本日の催しが実を結ぶための提言、話し合いには、少し不満の残る質疑応答であった。やはぎ会 中根さんの言葉、“保護されながらの平等、平等ならば保護はない。”が印象的であった。



# フォーラムに参加しての感想

来賓の方々からご感想をお寄せいただきました。ありがとうございました。

## 実践フォーラムの感想

常滑市総務課企画調整課

女性担当主査 山田 史子

皆様の実践活動報告を楽しく聞かせて頂きました。話を聞くうちに、私は、自然に昨年の自分を思い出していました。7年4月に女性担当を担当することになり、初めて気付かされることになった女性問題。

女性施策の取組が始まり、奥深さやむづかしさを感じています。実践活動の方々のように、機会を多く持ち視野を広め、自分のできることからチャレンジできればと思っています。

今後の活動が、一層皆様の向上に繋がりますよう願っています。

ありがとうございました。

## 「地域実践活動フォーラム」に参加して

美浜町社会教育課

係長 廣澤 洋子

各地域のパネリストから活動報告があり、苦勞されて今までこられた地域、自分たちで考え行動してこられた地域、地域婦人会が衰退していく中で、行政側から依頼されて活動を始めた地域等、それぞれの地域によって違いはありましたが、各地域間の連携に向けて情報交換、交流を深めながら、地域社会の発展から更に世界に大きく活躍されることを期待しています。

また、テーマも21世紀に向けて活躍される様子が伺え、これからの男女共同参画型社会に対して希望が大きくふくらみます。

ウィルあいちの開館によって、このような会が催され、いろいろな活動の発表の場が設けられたことは大変喜ばしいことです。しかも、名古屋の中心にあって、各地区から集まりやすく、これからの活動の拠点としてふさわしいと思います。

フォーラムのご案内を頂き、各地域の声を聞きながら多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。





## ☆地域実践活動フォーラムに参加して☆

小寄 はつ

油田さんの発表は、今後のあり方や姿勢もはっきり示され、内容もさすがの射たものと思った。

他のグループのパネラーからも、今日的な女性問題をテーマに活動され、又よりよい地域作りのために仲間の輪を広げたり、実践活動されていることを発表され、継続は力なりとその成果の大きさを思いやった。しかし、あるグループは、衰退気味で開発の意識を再確認したいと本音が出たりしたが、この度を機に手をつなぎ、どのグループも一歩踏み出していきたいものだ。

みちの会も、このすばらしいウイルあいちで活動することは、やっと拠り所ができた様で嬉しい。ここでの交流やイベントも楽しみにしたい。

青木 圭子

各々の会の活動報告を聞いて、みちの会はよくやって来たんだという思いと、そうした会に所属させて頂いている事を嬉しく思いました。行政との関わりについて、みちの会の姿勢や、油田さんの意見が反響を呼びましたが、さすがはリーダー役ですね。

男女共同参画を目指すには、「政策方針決定の場に女性がもっと参画していかないと」という声が高まっています。私共の市議会にぜひ出てほしいと願っている女性がいます。またみちの会から次は誰が議員に・・・。



伊藤 あさ子

「躍動への確かな前進」- 手と手をつないでと銘打って、6グループの活動が発表された。

あらためてみちの会の会員の一人として、これからの活動と連帯のあり方を再確認した。

何が問題で、どう解決すべきかを明確にするために、自分で情報を集め、自ら学び、考え、情報交換をし、協力連帯すべき事は積極的に進め、計画し、行動する。

男女共同参画社会に向けて、自分を高めていかなければならないと、反省するフォーラムであった。

### 愛称「ウイルあいち」について

未来へ向かう大いなる意志を象徴したもの、性別や年齢の枠を超えてすべての人がイキイキと生きるために、ウイルあいちを考え、ふれあい、励み、皆さんのさまざまな活動を応援していきます。

### シンボルマークについて

未来へ向かう意志と人の姿を表し、希望あふれる施設をイメージしています。

**W**  
ウイルあいち  
愛知女性センター





# ♪ あいち国際映画祭に参加して♪

阪野 信子

ウィルあいちのオープニングイベント“あいち国際女性映画祭'96”の6月6日に参加しました。日頃から洋画好きで、暇になったら毎週映画を見に行こうねと言っている友人と一日中映画を見れて幸せでした。始めに監督の挨拶、終わりに質問などがあり、初めての体験で新鮮でした。テレビや新聞で取り上げられたように来年度も引き続き開催していただきたいと願っています。地域実践活動フォーラムの盛会とともに、みちの会の会員であることに誇りを感じました。

昨年、作品公開した日本人女性映画監督全員の作品を一挙公開



**6月6日(木) 大会議室**  
 日本/1994年、カラー/114分  
 監督：野本：長岡志郎  
 出演：伊藤亜希子／榎方清  
 和久田理人／日野真紀子  
 配給：アップリンク

日本初公開作品5本を含む世界的に活躍する新進気鋭の女性映画監督



**6月6日(木) ウィルホール**

原題：女人四十。  
 香港/1995年/カラー/101分  
 監督：許鞍華(アン・ホイ)  
 脚本：陳文強  
 出演：簡芳芳(ジョセフィーヌ・シャオ)  
 蔡琴／羅家英  
 配給：ツイン、大映

仕事をもち、夫と息子のいるメイ。ある日、義父がアルツハイマーと診断された。養父の世話にメイの負担となるが、夫や息子は手伝おうともしない。か、しかし、一笑いと涙にあふれたコメディで、簡芳芳がタフな女メイを好演。許鞍華の代表作とも言える作品。'95年ベルリン映画祭主演女優賞、台北金馬奨グランプリ、最優秀女優賞他受賞作品。



日本初公開  
 作品

**6月6日(木)、9日(日) ウィルホール**

原題：Le fils du requin  
 仏、1993年/カラー/90分  
 監督：アリエス・メレ  
 脚本：アリエス・メレ  
 サンティアゴ・アミゴレナ  
 出演：ルロビック・バンテンダール

新築家庭に育ちながら、母の息子になって海の底を泳ぐことを夢見ている兄弟。夢力によってしか自分を表現することができない、どこにも居場所のない少年達の荒涼した心を淡々と描写。'94年ベニス映画祭批評家賞受賞作品。



**6月6日(木) ウィルホール**

原題：画魂  
 中国/1992年/カラー/130分  
 監督：何潤芹(ホワン・シュウチン)  
 脚本：黄蜀芹(ホワン・シュウチン)、他  
 出演：常川(コン・リー)  
 胡冬麗(イー・ドンシン)  
 配給：ハフスシアター

前世紀末の中国に生まれ故郷な生涯の果てにハリに客死した実在の女流画家・潘玉良(バン・ユイリヤン)の物語。彼女が筆筆を手にした1920年代は、人間的最も美しい姿“裸体”は、禁断の領域であった。中国を代表する女優・常川(コン・リー)から晩年までを演じ、新境地を見せている。

[投稿]

## ★地域実践活動フォーラムの感想★

常滑市 渡辺 恵津子

地域実践活動フォーラムに参加させていただき、各パネリストの方々が熱心に又着実に取り組んで居られる様子を感じました。そして女性のパワーがひしひしと伝わって来ました。人間どんな活動をするにも、年齢ではなく健康が第一と60代の私は思っています。

東三にじの会の方の発表の中に、まだまだ女性の自立を、拒んでいる地域があるというお話を聞き、私の若い時代を思い出し、今の時代でもこの問題は残っているのかと改めて考えました。

次に会の運営ですが、行政と仲よく(ベツタリはしないが良い)やっている会、行政と対等な立場でやっている会とか、女性問題は行政とタイアップしていくとか、いずれにしても年間の補助金をいただいて運営をされていくのですが・・・自立した自主団体にしていく方がいいように思われます。そして、地域にどうかかわっていくといいのか、色々考えさせられました。

# 会員情報コーナー

## ◆ J A を通してアスパ作り ◆

大村 貞子

J A 東知多とは、大府市・東浦町・阿久比町の 3 J A が、合併してできた農協です。私は、平成 7・8 年度と、J A 東知多女性組織の阿久比地域の参与という役職で活動しております。

先日、県の「ウィルあいち」が、開館しましたが、私たちの女性組織も平成 8 年の 3 月に「婦人部会」から「女性部会」と名称変更しております。それに伴い活動も、新しい感覚の自主的活動を取り入れても良いということで阿久比地域としては環境問題に取り組むことになりました。

E M 菌による堆肥作りは、会員の誰もが意識次第で参加に加わることができ、また、土地を所有している会員には、土に返すことが容易にできます。又、ゴミ減量という大きな成果も得ることができる意義ある活動だと確信しております。

J A 側、町行政や消費生活グループの理解と指導により 4 月末から 6 月までに、3 回のアスパを作りました。1・2 回目は、1400 名程の会員と J A の職員にプリントを添え配布し、3 回目からは、町内の 6 支店の窓口にも設置することになりました。

又、このことの P R の為、先日行政を通して、中日新聞の知多版にも写真入りで掲載して頂き、今新しいことへの挑戦で意欲的になっています。

先日の総代会で、組合長の好きな言葉に「温故知新」があり、ご自分は古いことや先輩たちの気持ちや言葉を大事にしながら「知新」とは、新しいことに挑戦して活動を興すのだと、言われました。

いつも、先進的な考えで活動しているみちの会が、地域社会の発展に寄与しながら、明るく楽しいイベントを企画していくことに、私も参加していきたいと思っています。

## ♥ 表彰 ♥

消費者保護功労者表彰 武豊町 中川 はる

国務大臣経済企画庁長官賞 受賞



平成 8 年 5 月 16 日 名古屋市伏見プラザ 鯉城ホールにて授賞式がありました。長年のご努力の賜物と心からお喜び申し上げます。おめでとうございます。

このページは皆様の情報交換のページです  
投稿をお待ちしております。

## 編集後記

多くの方から原稿をお寄せ頂き、無事第 9 号を発行することができました。今年度も充実した紙面にしたい思います。次号の発行日は 9 月第 2 回学習会の予定です。締め切りは 8 月末、皆様からの投稿をお待ちしております。

(担当者 山口道子 内田量子 鷹羽津代 片山澄子 伊藤あさ子 星利子)